令和 4 年 1 月 24 日

日本医学会分科会　理事長・会長殿
同　医学用語委員　殿

優性遺伝と劣性遺伝に代わる推奨用語について（結果報告）

日本医学会
会長　門田　守人
同　医学用語管理委員会
委員長　大江　和彦

日本医学会では、令和 3 年 8 月 27 日付にて「優性遺伝と劣性遺伝に代わる推奨用語について」別紙のように分科会からのご意見をお伺いしたところ，138 学会中，賛成 136 学会，保留 2 学会，反対 0 学会のご回答をいただきました．また，多くの学会より貴重なご意見をお寄せいただきました．ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げる次第です.

この結果を受けて本会として最終的に以下のように取り決めたいと思います．貴会会員にもご周知いただければ幸いです.

なお，医学用語の変更は分科会や関連学会のみならず，医学以外の諸分野にも関連し，大きな影響が及ぶことがあることから，今後、貴会で用語の変更を検討される際には早い段階で日本医学会にご相談をいただくとともに、分科会以外の医学生物関係の学会において用語の変更を検討されているという情報がありましたら，本会にご一報をいただけますと幸いです.

優性遺伝と劣性遺伝に代わる推奨用語について

1. 「優性遺伝」「劣性遺伝」に代わる推奨用語は、それぞれ**「顕性遺伝」「潜性遺伝」**とする。

2. 従来の表記は、(優性遺伝)、(劣性遺伝）として、括弧書きで表記する。これらの用語は、本来，遺伝形式を示す用語であり、「顕性遺伝（優性遺伝)」「潜性遺伝（劣性遺伝)」と，遺伝形式として明記することが必要と考えられることから、4 文字の用語として推奨用語を示す。

3. 5 年程度の期間を経た後は推奨用語に移行する。

（注）顕性（優性)、潜性（劣性）はそれぞれ遺伝形式を示す表現であることから、推奨用語としてはそれぞれ「遺伝」を付与した「顕性遺伝」「潜性遺伝」として使用するものとする。